

第6学年 国語科 年間学習計画

目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標	
1 学期	4	つないで、つないで、一つのお話 春の河／小景異情 帰り道 地域の施設を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいばき 5 聞いて、考えを深めよう 5年生で習った漢字 笑うから楽しい／時計の時間と心の時間／主張と事例 話し言葉と書き言葉 6 たのしみは 文の組み立て 天地の文 情報と情報をつなげて伝えるとき 7 私たちにできること 夏のさかり 森へ	【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
	9	せんねん まんねん いちばん大事なものは 利用案内を読もう 熟語の成り立ち 5年生で習った漢字 10 やまなし／イーハトーヴの夢 言葉の変化 秋深し みんなで楽しく過ごすために／伝えにくいことを伝える 11 5年生で習った漢字 『鳥獣戯画』を読む 古典芸能の世界一演じて伝える カンジー博士の漢字学習の秘伝 5年生で習った漢字 12 『柿山伏』について 大切にしたい言葉 5年生で習った漢字 冬のおとずれ		【詩の表現の工夫に気づき、お気に入りの詩を朗読して友だちに紹介する】 【仮名の由来、特質などについて理解する】 【筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合う】 【文や文章の中で漢字と仮名を使い分け、正しく書く】 【表現の工夫によって味わいが違ってくることを理解し、自分の表現に取り入れる】 【印象に残ったことを形式や表現を工夫して書き、思い出を共有しようとする】 【聞き手の知識や興味・関心に合わせて内容や表現を工夫してスピーチする】 【5年生で学んだ漢字の読み・意味がわかり、文や文章の中で正しく使う】 【登場人物の関係を捉え。人物の生き方について話し合う】 【6年間の国語学習で学んだことを整理し、中学校へつなげる】
	1	詩を朗読してしようかいしよう 仮名の由来 メディアと人間社会／大切な人と深くつながるために 漢字を正しく使えるように／覚えておきたい言葉 2 人を引きつける表現 思い出を言葉に 今、私は、ぼくは 3 5年生で習った漢字 海の命 生きる／今、あなたに考えてほしいこと		